めがねのまちさばえ
Sabae Japan Eyeglasses

令和９年度
当初予算編成方針

経済情勢と国の動向

景気の現状・見通し（月例経済報告・令和８年７月）

我が国の景気は緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響や金融資本市場の変動等に引き続き注意が必要とされている。

先行きについても、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気の緩やかな回復が期待される一方、国内外の経済・物価動向を十分注視する必要があるとされており、現時点では、なお不透明な状況にあると考えられる。

経済財政運営と改革の基本方針２０２６

「責任ある積極財政」の考え方の下、「強い経済」の構築と財政の持続可能性をバランスよく同時に実現する方針が示されている。地域における人口減少、インフラ老朽化、担い手不足等の課題を踏まえ、自治体ＤＸの推進等により、将来にわたり持続可能かつ最適な形で行政サービスを提供するとともに、地方行財政基盤の持続性を確保・強化することとされている。

社会経済情勢の変化と地方財政への影響

人件費の増加

・給与改定や処遇改善への対応
・専門人材確保のための人件費上昇
・会計年度任用職員制度への対応



社会保障関係経費の増加

・高齢化による介護・医療需要増
・子育て支援施策の拡充
・障がい福祉サービス需要の増



物価高騰

・光熱費
・燃料費
・食材費　等の上昇



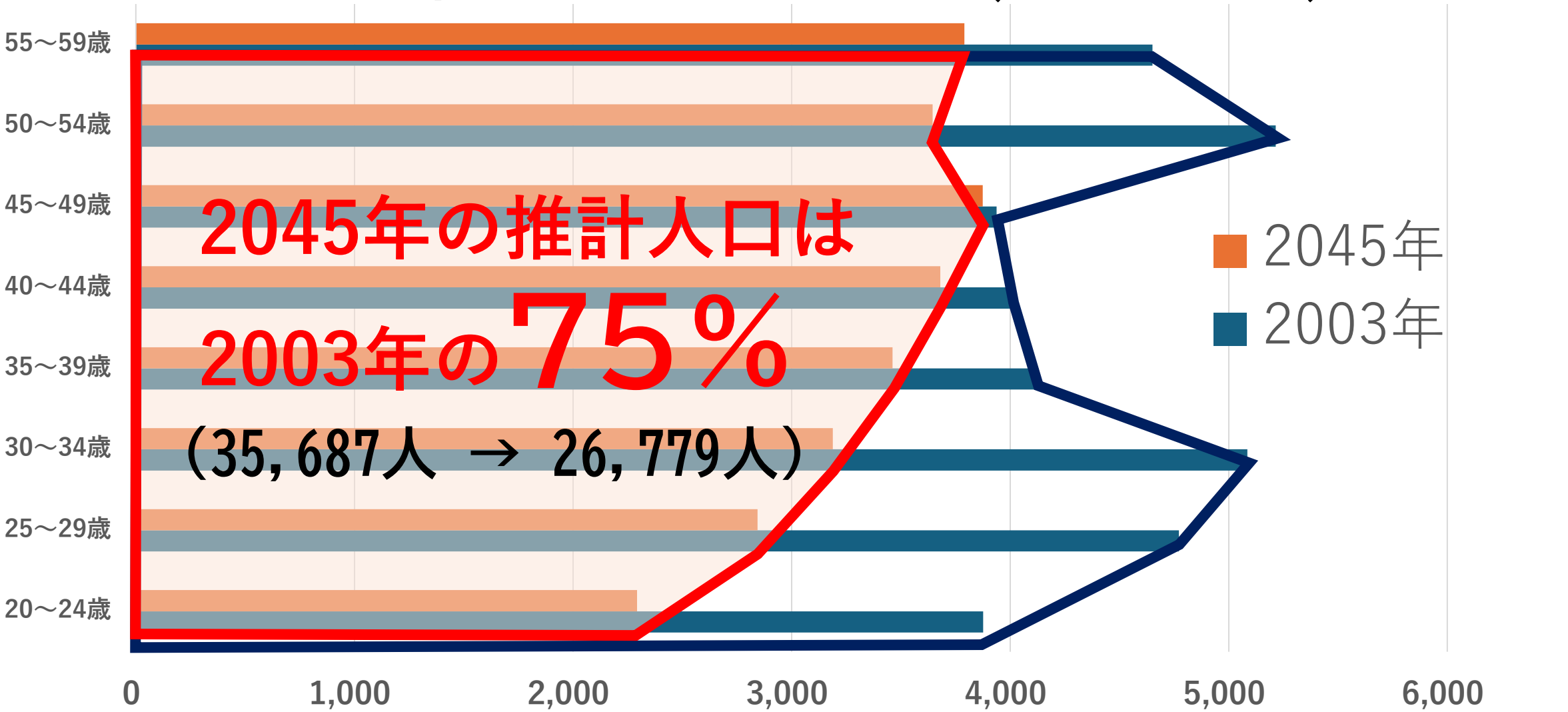
⇒ 財政需要の増加・歳出の硬直化

鯖江市の財政状況

（財政健全化判断比率の推移）

指標 ＼ 年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	**令和７年度**
実質赤字比率 赤字の12.66% 赤字の20%	普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	－ （黒字の7.05）	－ （黒字の7.60）	－ （黒字の8.26）	－ （黒字の3.60）	**－ （黒字の3.53）**
連結実質赤字比率 赤字の17.66% 赤字の30%	普通会計に公営事業会計等を加えた全会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率	－ （黒字の19.47）	－ （黒字の21.58）	－ （黒字の21.19）	－ （黒字の18.48）	**－ （黒字の17.39）**
実質公債費比率 25% 35%	普通会計が負担する元利償還金および準元利償還金の合計額の標準財政規模に対する比率	6.0	5.3	5.1	5.4	**6.2**
将来負担比率 350%	普通会計が将来にわたり負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	－ （△18.0）	－ （△27.5）	－ （△31.5）	－ （△29.6）	**－ （△11.3）**

過去の公債費ピーク時(2003年)の人口と2045年推計人口との比較(20～59歳)



参考：国立社会保障・人口問題研究所

令和９年度当初予算編成方針

めがねのまちさばえ

通年予算

（１年間の見通しを立て編成）

令和８年度補正予算との一体的な編成も視野

（今後の国の補正予算等の動きなどを注視）

令和９年度予算編成の基本的な考え方

めがねのまちさばえ

課題

国際情勢の不確実性への対応（ものづくりを中心とした産業支援）、
公共施設の老朽化への対応、人口減少・少子高齢化への対応　など

⇒ 限られた人的・財政的資源などを効果的に活用

- 前例踏襲型の予算編成からの脱却
- 事務事業評価の結果等を踏まえた事業の選択と集中
- 積極的な財源の確保　・客観的なデータやエビデンスに基づく政策立案
- DXの視点による業務の見直しや再構築

「鯖江での暮らしは楽しい」「鯖江の未来は明るい」
「鯖江で家族をつくりたい」　と感じられる

笑顔があふれるめがねのまちさばえ

～ 人が集い・輝き・挑戦するまち ～
の実現を目指す

予算編成方針のポイント

めがねのまちさばえ

「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」
実現に向けた**基本方針**

総合戦略の着実な推進

1 『世界に挑戦』で、さばえる！
（稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる）
2 『市民主役』で、さばえる！
（ひとが集い、挑戦できるまちをつくる）
3 『幸福長寿』で、さばえる！
（育てやすい暮らしやすいまちをつくる）
4 『住みたいまち』で、さばえる！
（安心で快適で魅力的なまちをつくる）

予算編成方針のポイント

めがねのまちさばえ

「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」
実現に向けた**基本方針**

ブランド戦略**「つくる、さばえ」**を軸に、
「与衆同楽」の理念 および
自治体間の差別化につながる**「さばえらしさ」**の視点
での予算編成

「さばえで暮らす、幸福実感」

「移住定住促進」　「子育て支援」

つくる、さばえ　行政だけがまちをつくるのではなく、市民、企業、団体、地域、行政がともに未来を創り上げるという考え方
与衆同楽　鯖江藩第７代藩主・間部詮勝公が大切にした「自らの楽しみや喜びを多くの人々と分かち合い、ともに豊かになる」という理念

予算編成方針のポイント

めがねのまちさばえ

「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」
実現に向けた**重点施策**

（１）本市の魅力・価値を高める
もの・まち・こと・ひと・支え手づくり

本市の魅力や価値を高め、自治体間の差別化につながる

「さばえらしい施策」

（本市の強みや地域資源を活かした施策、新たに生み出す施策）

予算編成方針のポイント

めがねのまちさばえ

「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」
実現に向けた**重点施策**

（２）笑顔あふれるまちの創造

各部が抱える課題解決に向けた取り組みを推進するとともに「与衆同楽」の理念のもと、市民が安心して暮らし続けることができる環境づくりと地域経済の活性化

➡ 笑顔と活力にあふれるまちづくりを推進

予算編成方針のポイント

めがねのまちさばえ

「笑顔があふれるめがねのまちさばえ」
実現に向けた**重点施策**

（３）既存事業の見直しと未来への挑戦の推進

・スクラップ＆ビルドの徹底（新規１事業要求につき、既存２事業以上の廃止が原則）

・成果検証に基づくサンセット方式の徹底
見直し年にあたる事業（令和６年度新規事業）は、
継続するに足る根拠や成果が示せない場合、原則として、
一旦廃止または見直し ⇒ **事業の選択と集中をより一層推進**

・ファーストペンギン枠による新たな挑戦の推進
未来の鯖江を「つくる」ため、「ファーストペンギン」の精神で
難課題に立ち向かう

要求基準①

めがねのまちさばえ

【義務的経費】

・制度改正や公定価格等の変更に注意

・実績を踏まえた適正値での要求
（不用額の抑制）

要求基準②

めがねのまちさばえ

【経常的経費】

・各部局への枠配分方式（令和8年度と同額）

※「部局マネジメント予算枠」として配分

・枠内に収まるよう部局内で調整

要求基準③

めがねのまちさばえ

【臨時的経費】

・最善の方法、適正金額の追求

・現在改定作業中の

「鯖江市公共施設等総合管理計画」に則った

中長期的な視点

要求基準④

めがねのまちさばえ

【政策的経費】

・事業精度の向上

・ランニングコスト、後年度負担を含めた
　中長期的な財政影響の把握、整理

特別会計・公営企業会計　要求基準

めがねのまちさばえ

・独立採算、受益者負担の原則

・一般会計に準じた予算編成

・一般会計からの繰出金は繰出基準を遵守

予算編成の進め方

めがねのまちさばえ

（１）財務管理課長ヒアリング

次の視点で行う。

・目的と手段が合致しているか

・数量、金額が

　客観的な情報に基づくものか

　適正な水準だと判断できるか

・合理性、経済性、効率性、有効性、妥当性、財源意識など

（２）市長査定

政策的な判断を伴う事業および新規事業は、原則、市長査定とする。

予算編成の進め方

めがねのまちさばえ

①事業単位一件査定

対象は下記のとおり

ア　新規事業
イ　臨時的経費
ウ　政策的経費の既存事業
エ　令和６年度の新規事業（サンセット方式の見直し年にあたるもの）
オ　事務事業評価で低評価（８点以下）の事業

※特別会計、公営企業会計、一部事務組合は従来どおり

予算編成の進め方

めがねのまちさばえ

②枠配分オーバー部局ヒアリング（経常的経費）

主に以下の項目について確認

・オーバーした要因（物価上昇、制度改正、数量増等の内訳）
・前年度決算額、執行実績と比較し過大でないか
・コスト削減の取組状況および代替手法の検討結果
・業務の見直しや効率化（デジタル化等）による削減余地